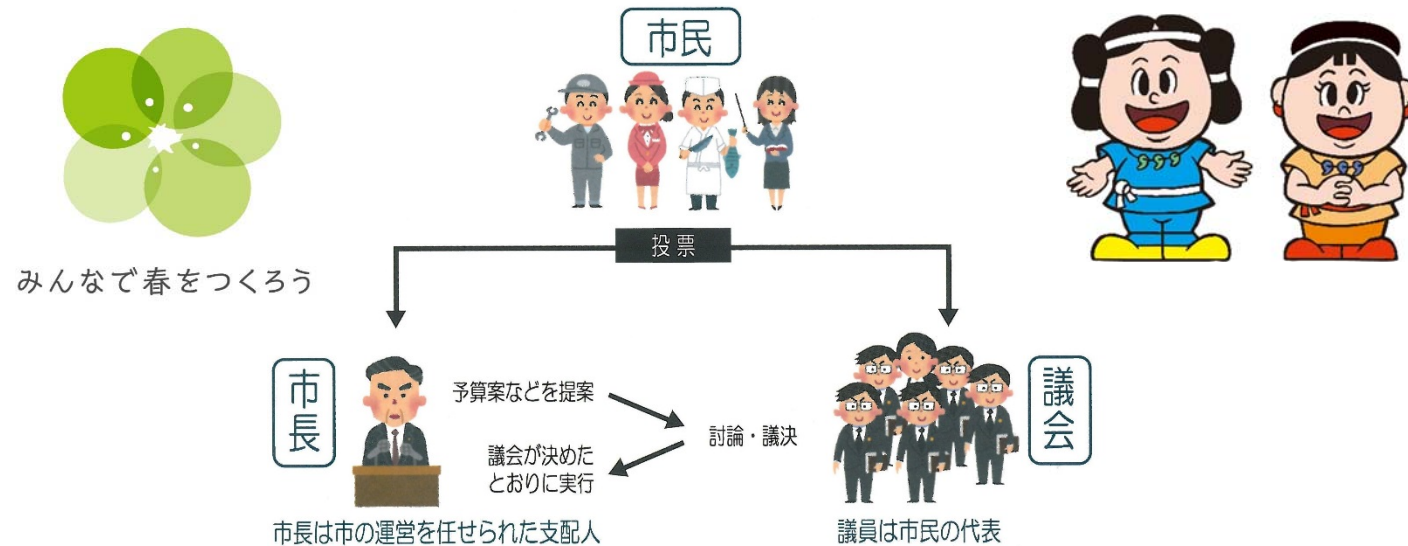


そもそも市長と議会の役割ってなあに？

■市長は市民の代表ではありません！

え！？と思われるかも知れませんが、制度的には「市長」は市民の代表ではありません。

市民の代表は議員なのです。なぜなら、議員は市民の代表ですから、3ヶ月以上の住民資格がないと、立候補さえもできませんが、市長はシティマネージャー(支配人)ですから、法律的にはその町に住んでなくてもなれるのです。



国と地方は、政治の仕組みはどう違うの！

国は**一元代表制**です。選挙で国会議員を選び、多数を占めたところが執行権を握る**議院内閣制**ですので、与党と野党があります。地方自治体の場合は、首長と議会をそれぞれ直接選挙で選ぶ**二元代表制**になっています。では、どうして別々に選ぶのでしょうか？ それは、首長と議会それぞれに違う役割を持たせているからです。市長が独走してしまわないように、健全な緊張関係のもと、より良い町づくりを進めるために議論し、チェックしながら自治体の運営をするように設計されたシステムです。

ですから、与党・野党もしくは市長派・反市長派という考え方や行動をとること自体おかしな話です。

市の提案に対し“なんでも賛成”とか“なんでも反対”ではなく**市民目線で是々非々の立場で判断することが**、議員としての当然の務めだと考えます。

議員の仕事ってなあに？

議員は「すぐやる課受付」みたいなものでしょ～？

もちろん、市民の皆様の苦情や陳情を行政に伝え改善することも、議員としての大きな仕事の一つでもあります。しかし、**議員は特別職公務員**です。〔全体の奉仕者として公共の利益のために、全力を挙げてこれに専念しなければならぬ〕と法律に明記されています。市民の特定な方からの苦情や相談を、非公式な働きによって解決するのが、議員本来の仕事ではありません。

これからの議会・議員に求められる役割の変化

財政にゆとりがあった時代は、議員は地域の代表として地域の要望だけを市に伝える事が主な仕事でした。しかし、近年の全国の先進地方議会の動きを見てみると、市民との対話の中で、市が気づかない課題を発見し、議会として解決策(施策)を提案。また、市の提案に対しても ×だけでなく議員同士が十分議論し修正案を提示する等、積極的な動きをする議会が増えていきます。今後の懸念される市政への課題や問題に対しても、指摘するだけでなく、**自ら地域課題の解決策を提示**できるように、更に研鑽を積む必要があると考えています。

しょう
翔
しゅん
春

中原 ともあき 活動ニュース

ホームページ <http://www.challenge-tomoaki.com/>

平成 30 年度
発行者:春日市議会議員
中原 智昭

電話・FAX 092-584-6472
携帯 090-2501-3873
住所 〒816-0823
春日市若葉台西 5 丁目
32-1-701

今年の夏も例年にも増して暑い夏となっておりますが、皆様方はいかがお過ごしでしょうか。まだまだ残暑が厳しくなりますので、体調にお気をつけてお過ごしいただけますようお願いいたします。

さて、私も市議会議員として活動し二期目最後の年となりました。これまでに支えていただきました支援者の皆様心より感謝申し上げます。

私自身も二期目の市議会議員として諸問題に正面から取り組み、皆様のお声を市政に少しでも反映できるよう努力してまいりました。その結果少しずつではありますがかたちになり実現できるようになってまいりましたが、まだまだ道半ばでございます。

これからも市民の代表として地域の課題や問題点を市行政に訴え、子どもから高齢者までが安心して暮らせる街を目指し、皆様のお声を拝聴し粉骨砕身頑張っていきたいと考えておりますので、今後ともよろしく願いいたします。



今期議会での所属

会派

翔春会(しょうしゅんかい) 金堂清之議長と会派を組む

委員会

地域建設委員会・議会運営委員会・予算特別委員会・決算特別委員会・春日市土地開発公社理事
春日那珂川水道企業団議員・議員厚生会委員

役職

春日那珂川水道企業団議長・決算特別委員会副委員長・会派代表

翔春会
(会派室)



市議会議員 中原ともあきの想い

現在 11 万 2 千人を抱える春日市ですが、高齢化率も確実に上昇し 10 年後には人口の 24%まで上昇すると予想されている今、何が必要かを考えると若い子育て世代を定住させる事が重要なのではないかと考えています。当市には企業を誘致できるほどの敷地も環境も無く、これからは市民(人)こそが宝の時代が必ず訪れます。ではどうすれば人は集まるのでしょうか？ それは、更なる教育の環境の充実しかないと考えています。『春日市で子育てしたい』そう思える街づくりをすることが、子どもたちや高齢者・障がい者にも『やさしい街』になると信じています。このことを具現化するためこれからの 4 年間、行政に課題や問題点を提起し、一歩ずつでも確実に進んでいくように努力していきたいと考えます。



中原ともあき 二期目の活動

平成 27 年 4 月より二期目の市議会議員として、議員の権利でもある定例議会一般質問において平成 30 年 6 月議会まで、全 13 回の定例議会中 12 回の一般質問を行い、市執行部の問題点や課題を洗い出し、その上で提案等を行いました。

一般質問内容と市の回答



◆ 平成 27 年度

6 月定例会

Q: 小中学校の空調機導入は補助金がない場合でも、市の単費で実施可能なのか。

A: 平成 29 年工事着手予定、まずは国・県の補助金確保に全力をつくしたい。

9 月定例会

Q: LGBT(性的マイノリティー)者は 13 人に 1 人の割合で存在する、自治体としての認識と支援は。

A: 本市としてもLGBTに対する理解を深め、基本的人権が尊重される差別のないまちづくりを目指す。

12 月定例会

Q: 学校教職員へのメンタルヘルス対策について

A: 本市の学校は大規模校がない為、ストレスチェック等の体制整備は努力義務だが相談しやすい体制をつくる。

Q: 電力自由化に伴う公共施設の電気料金削減導入すべきでは

A: 新電力会社の供給も検討する。→ その後、平成 29 年より市役所を新電力会社に切り替え料金削減中

◆ 平成 28 年度

3 月定例会

Q: まなびや春日(低学力児童支援)拡大について

A: 現在の支援員不足の問題を解決し広げていけるよう努力する。→ 現在は全小中学校で放課後実施中

6 月定例会

Q: 小中学校の空調機導入の計画の進行状況について

A: 平成 29 年度に中学校より実施する。→ 平成 30 年度末までに全小中学校導入決定、稼働中

9 月定例会

Q: 市職員の資質向上のための市独自で行う研修やプランは。

A: 女性職員を対象とした独自研修を実施。32 年度までに女性管理職を全体の 30%に引き上げる目標。

平成 29 年度

3 月定例会

Q: 2020 年学習指導要領改正に伴い、小中学校の ICT 教育の導入を検討すべき。

A: 文科省の目標を念頭に、本市としても ICT 教育推進に向けて検討していく。

6 月定例会

Q: 総合スポーツセンターの空調料金が高額な為、改定すべきでは。

A: 基本的に受益者負担をお願いしている。利用者間で話し合い公平になるようお願いしたい。

9 月定例会

Q: 光町西側交差点付近の自転車交通事故防止対策を望む。

A: 事故発生の原因は交通違反と考える。現在は警察立哨要請と防犯カメラを設置し取り締まる

12 月定例会

Q: 性的マイノリティー者への支援体制や相談できる環境づくりは進んでいるのか。

A: 講演会や研修会により認識は深まっている、今後は国や県の動向を見ながらできる事から取り組む。

平成 30 年度

3 月定例会

Q: 中学校部活改革で教員の超過勤務の軽減を行うべきでは。

A: 教員超過勤務が部活にも原因があることは認識している。今後は国・県と一体となり検討する。

6 月定例会

Q: Vリーグ参戦を目指す、福岡春日シーキャッツ(女子バレーボールチーム)を市として支援すべき。

A: チーム運営は、自主的・自律的に行うことを期待している。その上でチームが軌道に乗るまでの、補助金を市が交付できるかは検討の余地があると考えている。

Q: 2019 年ラグビーワールドカップ公認キャンプ地が内定されたが内容は。

A: アイルランドとプレーオフ勝者がキャンプを行う。10 月に実行委員会を組織し、その中でどう盛り上げるかを検討する。



議員の仕事は本会議での一般質問だけではなく、私は一般質問をすることで、現在の市政における課題や問題点を市民の皆さんと伴に訴え、改善できることから実行できるように、提案していきたいと考えています。